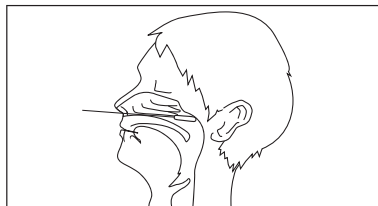


イムノエース[®] SARS-CoV-2 II 操作方法

株式会社 **タウンズ**
お問い合わせ先 ☎ 0120-048-489

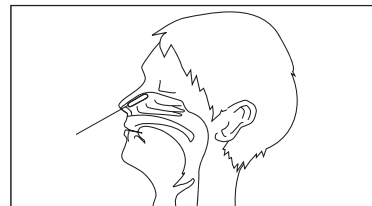
■ 検体採取

① 鼻咽頭ぬぐい液



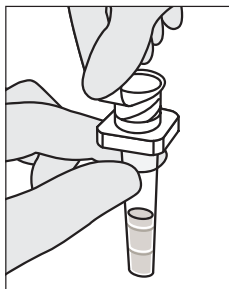
キット付属のswabを鼻甲介に沿わせながら、鼻咽頭まで挿入し数回擦るようにして粘膜表皮を採取します。

② 鼻腔ぬぐい液

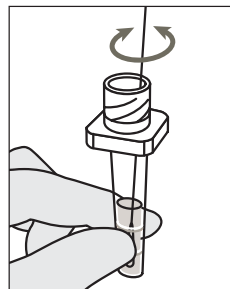


キット付属のswabを鼻孔から2cm程度挿入し、挿入後、swabを5回程度回転させながら擦るようにして粘膜表皮を採取し、5秒間静置します。

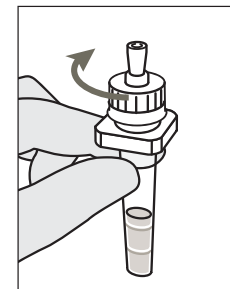
■ 試料調製



検体抽出液の容器のアルミシールを液が飛び散らないように剥がします。

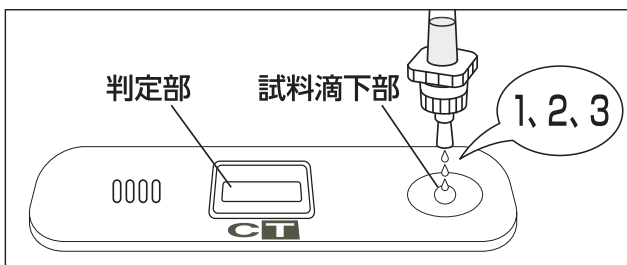


検体採取後のswabを検体抽出液に浸し、容器の外側からswabの頭部を軽くつまみ5回以上左右に回転させ、上下に動かし攪拌します。抽出後、容器の外側からswabの頭部をつまみ、試料を絞り出すようにswabを引き抜き、試料とします。



検体抽出液の容器の上端に付属のノズルを被せてしっかりと閉めます。

■ 試料滴下



検体抽出液の容器の中ほどをつまみ、テストプレートの試料滴下部に試料3滴を滴下します。

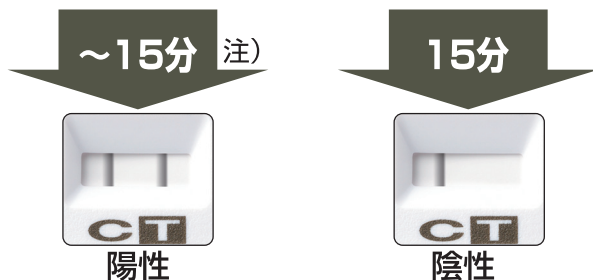
⚠ 注意

テストプレートは開封後すぐに使用してください。

注意事項

- ① 滴下するとき、検体抽出液の容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。
- ② テストラインは、ラインの濃淡にかかわらず、目視で確認できれば陽性です。
- ③ ラインは色分けにより区分されている各判定部内であれば、その位置にかかわらず有効です。
- ④ フィルターに目詰まりするほどの強粘性の試料は、生理食塩水で2倍希釈して使用してください。
- ⑤ 抗原量が非常に多い場合には、判定部[T]に非常に濃いラインが認められ、判定部[C]にラインが認められないことがあります。このような場合は、新しい検体抽出液1本に対して試料を1滴滴下し、十分に混和し、希釈調製したものを試料としてください。
- ⑥ 滴下量が多すぎた場合には、本品の測定原理から白金-金コロイド標識抗体が希釈されることにより反応が遅延し、判定時間内に判定部[C]及び/又は[T]にラインが認められない、又はラインが薄くなる場合があります(偽陰性)。

■ 判定



注) 15分より前でも判定部[T]及び[C]の両方にラインが認められた場合には陽性と判定してください。